

【事業者向け】放課後等デイサービス・児童発達支援 自己評価表

こどもプラス横須賀教室

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-----------------|---|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 6 | 2 | | |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 1 | 7 | | 利用児童数に対し、1:2を超えないよう配慮している |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 7 | 1 | | |
| 業務 改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 5 | 4 | | 各業務についてPDCAサイクルを用いて改善はできていないが、随時改善策を指摘するようにしている |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 1 | 5 | | 保護者向けアンケート調査を定期的 に実施出来ていないため、今後ご意向に沿えるよう定期的に把握していくよう努める |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | 2 | | この自己評価結果については、ホームページにて公開しています。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 5 | | 現在、第三者評価機関を活用していないため、今後導入を検討する |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 1 | 7 | | 社内外の研修等へ参加は促しているが、実務上機会を確保できていないため、今後確保し、資質向上に努める |
| 適切 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス（児童発達支援）計画を作成しているか | 8 | 1 | | 定期的モニタリングを行い、子ども（自己のニーズを表現可能な子どものみ）と保護者のニーズや課題を聞き取り、計画に反映している |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 2 | 5 | | アセスメントツールは全児童同一のものを活用している |
| | ⑪ | 活動プログラミングの立案をチームで行っているか | 1 | 7 | | 毎日同一児童が利用するわけではないため、チーム分けして立案はできていないが、可能な範囲で複数名の職員で状況を共有し、立案するよう努める |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 6 | 3 | | ⑪同様、毎日毎日同一児童が利用するわけではないため、利用児童の発達段階に合わせて固定化しないよう立案してるか、日によっては類似プログラムになってしまっている。職員間で状況を共有し、固定化しないよう改善する。 |

| | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|
| な 支 援 の 提 供 | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 1 | 7 | | きめ細やかな課題までは設定できていないため、今後改善できるよう努める。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス（児童発達支援）計画を作成しているか | 8 | | | 個々の個性や発達段階が異なるため、適宜組み合わせで作成している |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | 4 | 1 | 毎支援開始前の打合せができていないため、今後時間を確保し、役割分担等確認していくよう努める |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 3 | 4 | 1 | 支援後ではなく、個別支援記録を用いてその日の様子や気付いた点等を記録し、全職員が閲覧できるようにしている |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 9 | | | 個別記録を毎日徹底し、より良い支援につなげるようにしている |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス（児童発達支援）計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | 3 | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 3 | 2 | | ガイドライン総則を周知出来ていないため、今後早急に全職員に周知させ、支援に活用する |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい者が参画しているか | 5 | 2 | | 可能な範囲で、児童発達支援管理責任者が参加している |
| | ㉑ | 学校（保育園・幼稚園）との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 4 | 2 | | 各機関より確認できる範囲で調整等を行っている |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 2 | 4 | | 現在、該当児童が利用していないが、今後そのような児童の利用がある場合は、主治医等との連絡体制を整備する。（てんかん発作時の対応などは事前に対応方法を主治医より教示を受けた上で、全職員に周知している） |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 1 | 4 | 1 | 主に未就学児童への支援を行っているため、今後情報共有等を行っていく |
| | ㉔ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 2 | 5 | 1 | 外部機関との連携及び研修、助言等を受ける機会がないため、今後早急に連携体制を構築する |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|---|---|---|
| 保護者との連携 | ②⑤ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動するきかひがあるか | | 6 | 2 | 現時点では、外部交流は近隣の公園であり、今後児童館等での交流を持てるよう計画する |
| | ②⑥ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | 5 | | 積極的な参加はできていないため、今後調整していく |
| | ②⑦ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 8 | 1 | | 送迎時やノートなどを用いて、各児童の状況を伝え合えるようにしている |
| | ②⑧ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか | | 5 | 1 | 現時点ではペアレントトレーニングまでの支援ができていないため、今後行えるよう整備していく |
| 保護者への説明責任等 | ②⑨ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 7 | 2 | | 児童発達支援管理責任者より、見学时、契約時等に随時説明を行っている |
| | ③⑩ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 7 | 2 | | 必要に応じて個別に対応している |
| | ③⑪ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 6 | 2 | 保護者会を開催する等、機会を設けられていないため、今後どのような会を設けるのが良いか保護者の皆様のご意見をいただきながら開催に向けて努める |
| | ③⑫ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | 2 | | 苦情の窓口や体制を周知しているものの、迅速かつ適切な対応につながっているか、今後さらに職員間で対応策を検討する |
| | ③⑬ | 定期手に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | 6 | | 会報等を作成し、事業所から発信できていないため、今後作成等を検討し、情報発信の機会を設ける |
| | ③⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 7 | | | 事業所外への持ち出しは一切禁じている |
| | ③⑮ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | 1 | | 視覚情報や残る記録を用いて配慮しているが、現状に甘んじることなく、より良い支援に繋げるよう努める |
| 非常 | ③⑯ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 4 | 2 | 現状では、地域住民と交流できるイベントなど開催できていないため、今後企画検討していく |
| | ③⑰ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 1 | 5 | | 各マニュアルを職員及び保護者へ完全周知できていないため、定期的に周知する機会を設ける |
| | ③⑱ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | 4 | | 定期的に避難訓練、消火訓練等を行っている |
| | ③⑲ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | | 6 | | 虐待防止につながらないよう周知はしているが、定期的な研修までできていないため、今後機会を確保する |

| | | | | | | |
|-----------------------|----|---|---|---|--|---|
| 時 等 の 対 応 | ④⑩ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス（児童発達支援）計画に記載しているか | 1 | 5 | | 再度全職員に対処等に説明を行うとともに、保護者の方々にもお伝えしていくよう努める |
| | ④⑪ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 4 | 3 | | アレルギーについては、保護者より聞き取り、該当するものを提供しないよう配慮している |
| | ④⑫ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 7 | | | ヒヤリハット事例をファイリングし、常に閲覧できるよう情報共有している |